

# ES/1 NEO

MFシリーズ

## V05L21R3

# Release News Letter

## XSPシステム

### 目次

#### 【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて  
PC製品 サポート終了のお知らせ

#### 【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
MF-eASSIST	… 3

#### 【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別	… 4
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 5
Performance Navigator	… 6



本リリースニュースレターは、V05L21R3 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア (x:¥Rnl) 内のレターをご参照ください。

# 改版履歴

---

日付	版数	内容
2023/2/28	1	V5L21R3 リリース
2023/10/31	2	「521-090.Microsoft@365 Apps 環境への対応」に追記

# ES/1 NEO MF シリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより 30 ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。

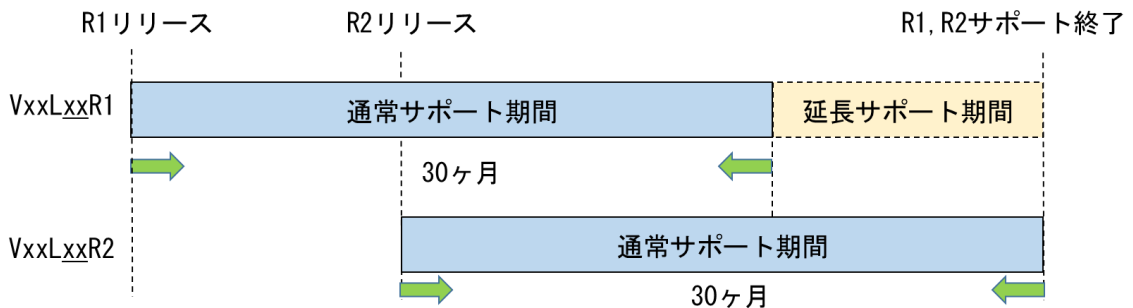


図. 製品ライフサイクルのイメージ

<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L21R3 の場合

**V 0 5 L 2 1 R 3**

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2022/5/31
VERSION/LEVEL/REVISION ---- 05.21.03
```

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L21R3	2023年2月	2025年8月31日
V05L21R2	2022年2月	2025年8月31日
V05L21R1	2021年10月	2025年8月31日
V05L20R3	2020年11月	2023年5月31日
V05L20R2	2019年11月	2023年5月31日
V05L20R1	2019年3月	2023年5月31日

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

以上

# PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

## <サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 8.1                      サポート終了時期：2024年1月末

## <サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013      サポート終了時期：2024年4月末

V05L21R3 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

## <オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 8.1  
Microsoft® Windows® Server 2012  
Microsoft® Windows® Server 2012 R2  
Microsoft® Windows® 10  
Microsoft® Windows® Server 2016  
Microsoft® Windows® Server 2019  
Microsoft® Windows® Server 2022  
Microsoft® Windows® 11

## <アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013  
Microsoft® Excel2016 / Word2016  
Microsoft® Excel2019 / Word2019  
Microsoft® Excel2021 / Word2021  
Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.5.2 以上

以上

## ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R3 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R3 と、以前のリビジョン (V05L21R2) との資源使用量比較一覧です。  
各項目の意味は以下の通りです。

CPU		以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L21R2 vs V05L21R3		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-XSP	CPECNVRT	—	0	—
	CPEXSPCV	—	0	—
	CPEPRT00	—	4	—
	AIMPRT00	—	4	—
	AIMTRC00	—	4	—
	JOBDSN00	—	4	—
	HIBICHKO	—	4	—
	AVMPRT00	—	4	—
MF-MAGIC for XSP	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	4	—
	BOXAIM00	—	4	—
MF-SCOPE for XSP	JOBEXE00	—	4	—
	JOBTRC00	—	4	—
	JOBGRP00	—	4	—
	JOBXSPM0	—	4	—
	JOBRDB00	—	4	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	CPEDASD0	—	4	—
	PAGPRT00	—	4	—
MF-eASSIST	PNAVICEC	—	4	—
	PNJOBXSP	—	4	—
	PNAVIVSP	—	4	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所に色を付けて表示します。

例.	MF-XSP	CPEPRT00	—	124	—
		AIMPRT00	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。  
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。  
(3) CPECNVRTへの先行更新をCPEXSPCVにも反映した為、CPEXSPCV本体の使用量が増加しました。

【OVER16機能 指定方法】実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。  
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

¥CPESHELL EX CPESHELL, RSIZE=64M, OPT=DUMP	<=追加・変更
¥PRGLIB FD PRGLIB=DA, FILE=CPE.LOAD	
¥SYSPRINT FD SYSPRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(5, 1), SOUT=OUTCLASS	
¥PARA PARM	<=追加
¥CPEPARM FD CPEPARM=*	<=追加
OVER16=CONVERTWORK	<=追加
OSTYPE=XSP	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」  
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-eASSIST	PNAVICEC	不具合	1	外部記憶使用状況で用量がゼロの時の出力に誤り					V05L20R3以降	3	521-078

◇表項目の説明

- 非互換 :新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 :本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 :新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 :新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 :OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

## 既存プロセッサ

## 不具合一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-eASSIST	PNAVICEC	不具合	1	外部記憶使用状況で使用量がゼロの時の出力に誤り					V05L20R3以降	3	521-078

## ◇表項目の説明

- 非互換 :新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 :本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 :新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 :新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 :OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

# MF-eASSIST

## PNAVICEC

### 521-078. 外部記憶使用状況で用量がゼロの時の出力に誤り

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	V05L20R3 以降

#### 【現象】

用量がゼロの外部記憶ページ・データセットにおいて、ゼロを出力すべきフィールドに欠損値を出力していました。また、値を出力すべきフィールドにゼロを出力していました。該当フィールドを使用してグラフを作成している場合は、グラフに系列値が表示されません。

#### <発生条件>

- ・ V05L20R3 以降
- ・ 外部ページ・データセットの用量がゼロ

#### <対象レコード>

【外部記憶使用状況】レコード名：AUX\_STR

フィールド名	説明	用量がゼロの場合
*_DS_AVG	平均 ページ・データセット使用率(%)	欠損値
*_DS_MAX	最大 ページ・データセット使用率(%)	欠損値

\*：ページ・データセット種別（PLPA, コモン, ローカル, スワップ, SCM）

【外部記憶使用状況（詳細）】レコード名：AUX\_STR\_DETAIL

フィールド名	説明	用量がゼロの場合
DURATM_MAX	最大使用率時のインターバル時間（秒）	ゼロ
IOCOUNT_MAX	最大使用率時の I/O 回数	欠損値
SRVTM_MAX	最大使用率時のページ転送時間（ミリ秒）	欠損値
SLOT_USE_MAX	最大使用率時のデータセット使用量（スロット）	欠損値
SLOT_SIZE_MAX	最大使用率時のデータセット容量（スロット）	ゼロ

#### 【原因】

用量がゼロの場合、使用率の計算を行わず初期値を出力していました。V05L20R3 以前の初期値はゼロでしたが、V05L20R3 から初期値を欠損値に変更したため、用量がゼロの場合に欠損値を出力していました。また最大使用時の検出においても変数の初期値が欠損値となり、該当フィールドに欠損値を出力していました。

#### 【対処】

用量がゼロの場合において、使用率を正しく計算するように修正しました。また最大使用時検出を正しく行うように修正しました。



ES/1 NEO MFシリーズ【PC】リリースニュースレター機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365Apps環境への対応	6	521-090
	拡張	2	Microsoft®Windows®11への対応	6	521-091
	不具合	3	PerformanceWebServiceにグラフがアップロードされない	7	521-093
	不具合	4	集合縦棒グラフが正常に作成されない	8	521-094
	不具合	5	エクスポート後のCSVファイルがGUIから開けない	9	521-095
	不具合	6	MicrosoftOfficeエンジンの使用を最小限にした場合にグラフ作成不具合	10	521-096

## ES/1 NEO MFシリーズ【PC】リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別

### 拡張一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365Apps環境への対応	6	521-090
	拡張	2	Microsoft®Windows®11への対応	6	521-091

### 不具合一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	不具合	1	PerformanceWebServiceにグラフがアップロードされない	7	521-093
	不具合	2	集合縦棒グラフが正常に作成されない	8	521-094
	不具合	3	エクスポート後のCSVファイルがGUIから開けない	9	521-095
	不具合	4	MicrosoftOfficeエンジンの使用を最小限にした場合にグラフ作成不具合	10	521-096

## Performance Navigator(拡張)

### 521-090. Microsoft®365 Apps 環境への対応

Microsoft®365 Apps に対応しました。対象となる更新チャンネルは次の通りです。

<更新チャンネル>

チャンネル	バージョン	ビルド	サービス開始日
半期エンタープライズチャンネル	2208	15601.20456	2023/1/10
	2302	16130.20694	2023/7/11

### 521-091. Microsoft® Windows® 11 への対応

Microsoft® Windows® 11 に対応しました。

## Performance Navigator(不具合)

### 521-093. Performance Web Service にグラフがアップロードされない

#### 【現象】

次の条件を満たす場合、Performance Web Service 用のインデックスファイルが作成されず、Performance Web Service にグラフをアップロードすることができませんでした。

#### <条件>

- ・ 報告書テンプレートの数 が 257 以上登録されている

#### 【原因】

Performance Web Service 用のインデックスファイル作成処理において、報告書テンプレートの内容を検索する上限を 256 個としていたためでした。

#### 【対処】

報告書テンプレートの内容を検索する上限を 999 個に修正しました。

## 521-094. 集合縦棒グラフが正常に作成されない

### 【現象】

次のいずれかの条件を満たす場合、集合縦棒グラフの縦棒が積みあがって表示され、意図したグラフが作成されませんでした。

#### <条件1>

- ・ Performance Navigator の「環境」 - 「Microsoft Office の設定」で「Microsoft Office エンジンの使用を最小限にする」を選択している
- ・ 下記のいずれかのグラフを選択している

#### <対象グラフ>

- ・ AIM ログファイル書き込み処理経過時間グラフ [詳細]
- ・ AIM ログファイル書き込み処理経過時間グラフ [時間]
- ・ AIM ログファイル書き込み処理経過時間グラフ [月次]

#### <条件2>

- ・ Performance Navigator の「環境」 - 「Microsoft Office の設定」で「Microsoft Office エンジンの使用を最小限にする」を選択している
- ・ Extension Graph 機能で、下記の設定を指定している
  - ・ 「グラフ作成オプション」 - 「縦棒グラフの場合、棒を重ねる」を選択
  - ・ 「グラフの種類」 - 「縦棒グラフ」の「集合縦棒グラフ」を選択

### 【原因】

グラフ作成ロジックに誤りがあったためでした。

### 【対処】

グラフ作成ロジックを修正し集合縦棒グラフの場合でも、正しくグラフ出力できるようにしました。

## 521-095. エクスポート後の CSV ファイルが GUI から開けない

### 【現象】

Performance Navigator エクスポート機能で作成した CSV ファイルを開こうとするとアプリケーションが正しく動作せず、GUI からファイルが開けないことがありました。

### 【原因】

Performance Navigator は拡張子「.csv」に関連付けされているアプリケーションをレジストリから取得していますが、環境によって正常にレジストリ情報を読み取ることが出来ないためでした。

### 【対処】

正常にパス情報を取得できるよう対応しました。

## 521-096. Microsoft Office エンジンの使用を最小限にした場合にグラフ作成不具合

### 【現象】

Microsoft Office エンジンの使用を最小限にした場合、次のグラフが正常に作成できませんでした。また、HTML 形式で報告書を作成した際に生成する.gif ファイルも正常に作成できませんでした。

### ＜対象グラフ＞

- ・ ジョブ スケジュールマップ [詳細]
- ・ ジョブグループ スケジュールマップ [詳細]

### 【原因】

上記対象グラフは Microsoft Office エンジンの使用を最小限にしているにもかかわらず内部的に Excel マクロを使用しますが、正常に動作していませんでした。

### 【対処】

Microsoft Office エンジンの使用を最小限にした場合において、グラフ及び、.gif ファイルが正常に作成できるよう修正しました。

### 【注意/制限事項】

- ・ 上記グラフを Excel グラフと Word の報告書に張り付けたグラフの配色は異なります。

Excel グラフ



Word 報告書

